

生産性の高い持続可能な飼料産地形成支援

【令和7年度補正予算額（所要額） 15,430百万円の内数】

<対策のポイント>

生産性の高い持続可能な飼料産地形成に向けて、労働力不足などの地域の抱える課題解決を図るために、**飼料生産組織を核とする青刈りとうもろこし等の飼料作物の生産・利用の連携体制（地域モデル）の構築・強化を図るための総合的な実証**を支援します。

<政策目標>

飼料自給率の向上（27% [令和5年度] → 28% [令和12年度まで]）

<事業の内容>

1. 地域モデル実証のための支援

飼料生産組織を核とする青刈りとうもろこし等の飼料作物の生産・利用の連携体制（地域モデル）の構築・強化を図るための総合的な実証を行うために必要な以下の取組を支援します。

(1) 地域モデルの実証に向けた推進

地域モデルの実証に向けた検討等に必要な取組を支援

(2) 地域モデルの実証

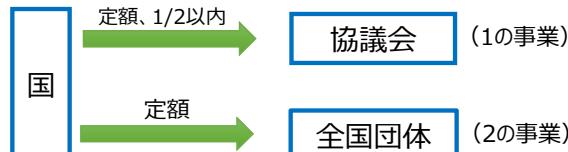
地域モデルを目指す飼料産地が行う、地域課題の解決を図るために以下の総合的な実証の取組を支援

- ① 飼料生産組織の人材確保・育成
- ② 生産・利用技術の取得、経営分析
- ③ 飼料作物の生産・利用環境整備
- ④ 飼料生産利用機械等の導入
- ⑤ 放牧利用の促進
- ⑥ 鳥獣害対策

2. 地域モデルの調査・分析等

全国団体が行う地域モデルや生産技術等の調査・分析、成果を普及するためのセミナーの開催等を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

飼料生産組織を核とし、飼料作物生産・利用の連携体制（地域モデル）の実証を行う協議会
【活動範囲：地域、市町村域、県域 等（県域を跨ぐ取組も可）】



[お問い合わせ先] 畜産局飼料課 (03-3502-5993)